目次

02. 宗像青年会議所誕生の歴史
03. JCI Creed
JCI Mission
JCI Vision
JC 宣言
04. JCソング
若い我等
05. 理事長挨拶
06. 御祝辞

10. 日本JC加入以前の
宗像青年会議所の活動
11. 歴代理事長と主な活動内容

26. 2014年度世界遺産登録推進運動と
青少年育成事業
27. 2014年度活動報告

29. 第42回福岡ブロック大会　宗像大会

31. 宗像青年会議所の誕生秘話と
未来を担う現役メンバーへの想い

宗像青年会議所誕生の歴史

「起て 宗像の青年よ！」

昭和３５年（１９６０年）９月

宗像青年会議所発足の歴史は、さかのぼること今から５４年前になります。当時の宗像は教育闘争の拠点として高名を馳せ、教育現場は大混乱しておりました。昔から神郡宗像、教育郡宗像と言われ、著名な教育者を多数輩出した教育界の雄郡でありましたが、当時はその面影もない惨憺たる状況でした。このように憂慮すべき状況を耳にされた出光興産の創業者 出光佐三氏が、宗像の青年を東京に招かれ、宗像の現状を憂い、結成されたのが宗像青年会議所の前身なのです。

昭和３９年（１９６４年）５月５日

「我々は将来の宗像の礎になろう」という崇高な理念のもと、１９６４年５月５日ＪＣ運動を開始。当時、町村長会からは、宗像には既に「青年団」があるとの理由から反対され、地域の協力を得ることができないままのスタートでした。そして、幾多の困難を乗り越え１０年間の準備期間を経て、１９７５年１０月８日、全国で５９０番目の青年会議所として、日本ＪＣに承認を受け、本年で４０年周年という節目の年を迎えることができました。

認承にあたって

長谷川裕一歴代理事長をはじめと致します、スポンサーＪＣであります直方ＪＣメンバーの皆様の多大なるご支援と、山田勝智歴代理事長をはじめと致します宗像ＪＣ先輩方の類まれなる努力の結果、２か月という驚異的な短い準備期間にて、正式に認承に至ることができました。

宗像の若者よ、この混迷する宗像に何の生き甲斐を感じるか。この素晴らしい環境に恵まれ、良き先輩をもつ幸せな若者よ、醇風美俗宗像の若者よ、勇気を持って奮起せよ。先輩に負けない人になれ。郷土を愛する人になれ。何事にも感謝し、互譲互助の精神をもって真の日本人のチャンピオンになれ・・・。

出光興産創業者　出光佐三 店主

JCI Creed

The Creed of

Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning
and purpose to human life;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;
That government should be of laws
rather than of men;
That earth's great treasure lies in
human personality; and
That service to humanity is the best
work of life

JCI Mission

To provide development opportunities
that empower young people
to create positive change

JCI Vision

To be the leading global network of
young active citizens

ＪＣ宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれ JAYCEE は
社会的･国家的･国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

JC ソング

JC JC JC
世界を結ぶ 若き団結
新しき世紀の 希望となりて
永遠に繁栄えん我等の集い
JC JC JC
奉仕の理想 探求めつつ
祖国の進歩の 力となりて
先駆けゆかん 我等の集い

若い我等

若い我等が 手を取り合って
進む行く手の 青い空に
輝く JC 明るい希望
足なみをそろえて 行こうじゃないか
世界を結ぶ 若さの力
互に尽くす 楽しさこそ
JC の理想だ 新しい日だ
足なみをそろえて 行こうじゃないか
若い我等の 心を集め
つくる集いに 未来をかけて
JC の仲間は 皆信じあう
足なみをそろえて 行こうじゃないか

理事長挨拶

2014年度
公益社団法人 宗像青年会議所
第40代 理事長
横山　誠

MUNAKATA JC 40th Anniversary
Starting Over
～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～

公益社団法人宗像青年会議所は１９７５年に社団法人直方青年会議所をスポンサーに仰ぎ、日本で５９０番目の青年会議所として発足しました。それ以来、宗像の地域住民の方々や多くの先輩諸兄に支えられ、本年創立４０周年を迎えることとなりました。創立以来、我々公益社団法人宗像青年会議所に対しましてご支援、ご協力いただきました行政、各種団体、多くの地域住民の皆様、そして同志であります各地会員会議所のご支援と厚い友情のおかげをもちまして、創立４０周年を迎えることが出来たことを心より厚く御礼申し上げます。

私たちは、今一度過去をひもとき、先輩からの精神を受け継ぐものとして、未来を切り拓く青年として、本年度のスローガン「Ｓｔａｒｔｉｎｇ（スターティング）　Ｏｖｅｒ（オーバー）」～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～のもと、心を一つにして日々ＪＣ活動を行っています。本年度は、５月に宗像ＪＣとして３度目、１２年ぶりとなる福岡ブロック協議会主催の第４２回福岡ブロック大会を主管させて頂きました。その中で４０周年記念事業となる「市民参加型ミュージカルむなかた三女神記」のショートバージョンを公演させて頂き、世界遺産推進運動の一助としました。また１０月には、姉妹ＪＣである韓国昌原青年会議所との姉妹締結３０周年記念式典を開催し、調印式当時の先輩方の熱い思いを再確認する機会とし、国際交流の意義を改めて考えたうえで友好の原点をお互いに確認しました。これからも私たち公益社団法人宗像青年会議所は地域の発展を願い、より一層強く活動していく所存です。

これまで同様のご支援とご指導を賜りますよう切に願いまして、挨拶に代えさせて頂きます。

祝辞

宗像市長
谷井　博美

公益社団法人宗像青年会議所が、創立４０周年という節目の年を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。

宗像青年会議所は、地域への奉仕活動をはじめ、本年度は、市長選の公開討論会の開催、そして、みあれ祭前夜祭花火大会の実行委員の運営等に多大なるご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

私の市政運営の基本理念は、「元気な市民と、元気なまちづくり」で、このことを念頭に、市民の皆さんと共に語り、共に汗をかきながら、まちづくりに取り組んでおります。

宗像青年会議所の皆様には、様々な活動を通して地域づくりに大いに貢献していただいております。今後の活動にも、大きな期待を寄せると同時に、これからの宗像地域のまちづくりに向け、ご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、宗像青年会議所のより一層の飛躍と会員の皆様の益々のご健勝を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

福津市長
小山　達生

本日、公益社団法人宗像青年会議所創立４０周年記念式典が開催されますこと、また創立４０周年記念誌が発行されますこと、心からお慶び申し上げ、一言お祝いのごあいさつを申し上げます。

公益社団法人宗像青年会議所におかれましては、個人の修錬・社会への奉仕・世界との友情の青年会議所の３つの信条のもと、福津市・宗像市において、世界遺産シンポジウムの開催や首長のローカルマニフェストの検証・公開討論会等、地域に根付いた積極的な活動にご尽力いただいており、地元市長として感謝申し上げます。

ここに、謹んで創立４０周年をお祝いし、心からお喜び申し上げますとともに、公益社団法人宗像青年会議所の今後ますますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いのあいさつとさせていただきます。

衆議院議員
宮内　秀樹

公益社団法人宗像青年会議所が創立４０周年の節目を迎えられ、記念誌が発刊されますことを心よりお祝い申し上げます。

そもそも青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を理想として始まったと聞きます。その理念の通り、ここ宗像におきましても世界遺産登録へ向けた多面的な推進運動や、市長選挙の際の公開討論会開催など広く様々な場面で宗像青年会議所の活躍を目に致します。更に、その活躍は“宗像青年会議所”という組織としてのみならずＪＣ会員の皆様の個々の活動や、卒業された多くの元会員の皆様の地域での貢献など深く当地に根付いています。これはまさに宗像青年会議所が４０年に渡り、若きリーダーをしっかりと鍛え、育て上げてきた成果に他ならないと思います。これからも良き伝統を胸に、新しく明るい豊かな未来を創る為に邁進されることを心より期待致します。

結びになりますが、宗像青年会議所の今後更なる御発展と皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。

祝辞

福岡県議会議員
阿部　弘樹

公益社団法人宗像青年会議所が、創立四十周年を迎えられ記念式典を開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

宗像青年会議所におかれましては、宗像地域に「明るい豊かな社会を築く」ことを目的とし、「青年が積極的な変革を創造し開拓するために、能動的な活動ができる機会を創造する」をミッションとされ、歴代理事、役員、会員の方が地元関係者の方々と一体となって積極的に活動されました。その結果として、現在の宗像地域の発展があると思います。四十年の間には幾多の課題や困難があったと思いますが、関係各位一丸となって乗り越えられました。

近年では「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」を、宗像青年会議所が企画、運営というかたちで強力にサポートされ、また宗像地域を超えて、福岡ブロック大会を誘致され、強いリーダーシップを持って宗像地域の魅力を積極的に発信し続けられています。心から感謝申し上げます。

これからも益々ご発展されることを願ってやみません。

福岡県議会議員
伊豆　美沙子

公益社団法人宗像青年会議所が創立４０周年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

これまで宗像青年会議所で活躍されたシニアクラブの皆様、現在活躍されている現役会員の皆様、それぞれに様々な想いをもって、この節目の年を迎えておられているものと思います。

出光興産店主の出光佐三氏のお声掛けにより、明るく豊かな社会の実現を理想とする、責任感と情熱をもった青年有志により、宗像青年会議所は運動を始められました。宗像地域の発展において、宗像青年会議所が果たされた役割は極めて大きいものと確信いたします。

創立から５０年、日本ＪＣ認承から４０年の永きにわたり、「奉仕・修練・友情」というＪＣ運動の三信条のもと、２０歳から４０歳までの若手経営者や事業家が、様々なボランティア活動や青少年育成事業、国境を越えた交流などを精力的に展開されてきたことを思う時、会員の皆様はもちろん、共にその活動を多岐にわたって支えてこられた各界の方々に深く謝意を評します。

公益社団法人宗像青年会議所の皆さんが、新たな時代に向かって、英知と勇気と情熱をもって行動されますことを心から祈念いたします。

福岡県議会議員
吉武　邦彦

この度は、宗像青年会議所が創立四十周年を迎えられますこと誠におめでとうございます。

地元をより良いまちにしたい！という志を持った青年が集い、お互いの成長のために研鑽を積み、またそれを通して社会貢献を形にしていく実践道場。また、卒業生は各界で活躍し、県内・全国で大きな影響力を発揮する人財の宝庫。それが宗像青年会議所です。

まさに、志の種を植え、芽吹き、大きく育てることができる素晴らしい組織となっていることに心より感謝し、祝福したいと思います。

近年の地方分権の推進、特に震災以降は、全国的に新たなまちづくりの方策がとられ、地域に根差した特色ある活動が行われています。ここ宗像においても各種団体が活躍しておりますが、その中でも青年会議所はその代表格として、存在感をしっかりと示されています。

宗像青年会議所がこれからどのように発展・成長を遂げていくのか、大きな期待をしています。

会員の皆様は、是非とも更なる研鑽を積まれ、日本を代表する青年会議所となることを目指していただきたいと思っています。

私も応援団として、しっかりとバックアップいたします。

自分と家族を大切にし、わが故郷の宗像を共に愛して行動していきましょう！

祝辞

公益社団法人
日本青年会議所
会頭
鈴木　和也

公益社団法人宗像青年会議所が 創立４０周年の節目を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。創立以来４０年に亘る歴史を紡ぎ、地域の発展にご尽力されてきた先輩諸兄と、高い志を受け継ぎ、今なお力強く運動を展開されている現役メンバーの皆様に敬意を表します。また、永年に亘り日本青年会議所の運動にご理解、ご協力を頂いていることに、改めて御礼を申し上げます。

本年、貴青年会議所におかれましては、横山誠理事長の意気あふれるリーダーシップのもと、「Ｓｔａｒｔｉｎｇ Ｏｖｅｒ～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～」をスローガンに、未来を見据え、地域を輝かせるために運動を展開されていることを嬉しく存じます。

混沌とする時代の中で、真に明るい豊かな社会へと導くのは責任世代の私たち青年です。景気回復の兆しが叫ばれる中で、日本全体を見渡すと真の経済復興を遂げているとは言い難く、地域によってさまざまな諸問題と向き合っている現状があります。私たち青年が多くの経験を通して成長し、地域のリーダーを担うことで、確かな時代を築く原動力となり、愛するまちの発展、ひいては国の繁栄へとつながるのです。本年度、日本青年会議所が目指す「たくましい国」日本の創造には、意気あふれる人財の育成と、活気に満ちあふれた地域の創造が不可欠であります。この国の未来に向けて、日本の矜持を取り戻し、全国に広がる強固なネットワークを活かして、地域のために活躍する皆様と共鳴し、社会にさらなるインパクトを与える市民意識変革運動を展開していきましょう。

結びに、公益社団法人宗像青年会議所のさらなる発展と、メンバーの皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせて頂きます。

公益社団法人
日本青年会議所
九州地区協議会
会長
野元　一臣

創立４０周年を迎えられましたことを、九州地区内７８会員会議所４０００名の会員を代表いたしまして、心よりお慶び申し上げます。

私たちを取り巻く環境は複雑を極め、地域の問題や課題を全て地域で解決することは難しくなっていることを鑑みても、今まさに俯瞰的な視野で地域を見つめ、覚悟を定めて知恵を絞り行動する青年の挑戦が求められます。近年特に地方の自立が問われる中、地域と地域が競争と協調の関係をもって主体性と創造力、個性を相互に伸長させ発揮することのできる九州の一体的かつ自立的な発展を目指す必要があります。ぜひとも皆様には、世界に広がるＪＣのネットワークと、地域を超えた様々な活動のフィールドを活かし挑戦して頂くとともに、皆様との共鳴によって「次世代に誇れる自立した九州の創造」を目指す本年度の九州地区協議会に、更にご期待を頂きたいと思います。

結びに宗像青年会議所の更なるご発展と、無限の可能性を見出さんとする意気あふれる皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

公益社団法人
日本青年会議所
九州地区
福岡ブロック協議会
会長
中村　好成

公益社団法人宗像青年会議所が、創立４０周年という記念すべき大きな節目を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、創立以来、地域社会の発展に大きな影響を与え、伝統を継承しながら歴史を刻んでこられました諸先輩の功績に敬意を表しますとともに、先達が築き上げてきた誇り高き志を受継ぐ現役メンバーの皆様におきましては、日頃より福岡ブロック協議会へのご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本年度は、横山誠理事長の卓越したリーダーシップのもと、「Ｓｔａｒｔｉｎｇ Ｏｖｅｒ ～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～」を基本理念に掲げられ、今日まで先輩たちが築き上げた伝統をしっかりと学び、未来を創造するＪＡＹＣＥＥがともに研鑽しながら、地域に必要とされるＪＣ運動を展開するために、この節目を契機に原点に立ち返り創始の精神を学び、これまで諸先輩から受継がれてきた歴史・伝統を継承し、明るい豊かな社会を築き上げていくことで、未来に向かって希望の持てるような地域社会を創造されますことを確信しております。

さて本年度、福岡ブロック協議会では「次世代に誇れる自立した福岡の実現」をテーマに掲げ、社会を牽引する意気あふれるＪＡＹＣＥＥが、ＬＯＭと共鳴する市民意識変革運動を各地に伝播させ、地域を愛し国を想う能動的な市民と共に光り輝く未来を切り拓くべく運動を行っています。引き続き、福岡ブロック協議会の事業や運動にご参画とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、故郷を心から愛する貴青年会議所が、地域において最も頼られ必要とされる青年団体として、ますます発展されますことと、メンバー皆様の積極的な変革・飛躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

昌原青年会議所
会長
キムドイル

宗像ＪＣが創立４０周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げますとともに、昌原（チャンウォン）ＪＣを代表して宗像ＪＣ歴代理事長の皆様、そして先輩方のこれまでのご尽力に心より感謝申し上げます。

先日は昌原（チャンウォン）JC 会員たちと家族を招待していただき、昌原（チャンウォン）ＪＣと宗像ＪＣの３０周年交流事業を盛大に準備して下さり、宗像ＪＣ会員の皆様の暖かい歓迎に心より感謝いたします。

長い歴史と伝統を有する宗像ＪＣ会員の皆様の直向きな努力により宗像ＪＣがどの団体にも負けない最高のＬＯＭに発達したことを信じて疑いません。

もう一度宗像ＪＣを１年間運営してこられた横山誠理事長に感謝申し上げ、宗像ＪＣ創立４０周年に心よりお祝い申し上げるとともに、今後益々発展されますことを願いまして、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

最後に、宗像ＪＣに関わるすべての皆様のご多幸をご祈念いたします。

一般社団法人
直方青年会議所
理事長
安部　義則

公益社団法人宗像青年会議所創立４０周年、誠におめでとうございます。スポンサーＪＣの会員を代表致しまして、心からお慶び申し上げます。創立以来、創始の精神のもと４０年の歴史を紡いでこられた事は、諸先輩方と現役会員の皆様の地域を愛する想いで運動を展開され築き上げられた賜物であると深く敬意を表します。

本年度は、「Starting Over ～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～」をスローガンに掲げられた横山誠理事長の熱い思いのもと故郷、宗像地域のために時代の先駆者として力強い新たなる一歩を踏み出されると確信しています。そして、今後も宗像地域になくてはならない青年会議所として、地域住民の皆様と一体となった素晴らしいまちづくり、ひとづくり運動を展開される事と確信致しております。直方青年会議所もスポンサーＪＣとして、同じ第２エリアで活動する同志として、今後も更に連携を深めて切磋琢磨しながらＪＣ運動に励んでいく所存でございます。

最後になりましたが、公益社団法人宗像青年会議所の今後益々のご発展と、皆々様のご健勝とご活躍を心より祈念致しまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。

シニアクラブ
代表世話人
樋口　博彦

公益社団法人宗像青年会議所が創立より４０周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、創立から今日に至るまで地域社会の発展に御尽力されました諸先輩方の功績に心より敬意を表すとともに、現役メンバーの皆様に心からの感謝とお祝いを申し上げます。

出光興産創業者である店主出光佐三氏の「宗像の立派な地域社会を築いていこう」という想いのもと４０年前の１１月８日に日本青年会議所より５９０番目に認承をいただき、活動をスタートしました。

歴史を紡ぎ、「互譲互助」の精神を大切に今日までその熱い想いが受け継いでこられたことと思います。これからもこの創始の精神を受け継ぎ、郷土愛を育みながら明るい豊かな宗像地域への発展に寄与してほしいと思います。

最後に公益社団法人宗像青年会議所が地域において、頼られ必要とされる青年団体として益々発展し、メンバーの更なるご活躍をお祈りし、お祝いの言葉とかえさせていただきます。

日本 JC 加入以前の宗像青年会議所

初代理事長（昭和 40 年度）	天野	昭夫
二代理事長（昭和 41 年度）	天野	昭夫
三代理事長（昭和 42 年度）	綱脇	博幸
四代理事長（昭和 43 年度）	伊豆	善也
五代理事長（昭和 44 年度）	薄	良一
六代理事長（昭和 45 年度）	安部	潔
七代理事長（昭和 46 年度）	広渡	堅太郎
八代理事長（昭和 47 年度）	川島	照亮
九代理事長（昭和 48 年度）	安部	潔
十代理事長（昭和 49 年度）	川島	照亮

主な事業

昭和 40 年度
- 宗像青年会議所創立

昭和 41 年度
- 研修旅行
- 宗像青年会議所規則作成

昭和 42 年度
- 奨学金制度設立
- 青年会議所大運動会
- 研修旅行

昭和 43 年度
- 利酒・奈良漬け講習会
- 家族運動会

昭和 44 年度
- 奈良漬け講習会・水上安全講習会
- 研修旅行

昭和 45 年度
- 研究会・読書会・講習会
- 子供キャンプ実施

昭和 46 年度
- 日本青年会議所全国大会出席
- 日本 JC 加入準備会議
- 宗像大社還座祭奉仕

昭和 47 年度
- 機構改革（呼称変更、専門委員会設立）
- 城山登山道整備・海岸清掃奉仕

昭和 48 年度
- 月刊ニュース刊行
- 城山登山道整備・海岸清掃奉仕

昭和 49 年度
- 10 周年記念大会

「変化への感度を忘れずに」

加入直前理事長
川島　照亮

４０周年おめでとう。

節々に筆を取らせて頂きましたが顧みると時の早さに驚きを隠しえない。

昭和３５年、この宗像の地で出光興産株式会社店主出光佐三翁が「醇風美俗宗像の若者よ勇気をもって奮起せよ。」と語ったこの言葉を今も忘れることが出来ない。

宗像青年会議所はこの言葉を原点にして誕生。思えば、成功する人は成功する前に成功をもたらす言葉と必ず出会っている。これからの宗像ＪＣが今後飛躍するか否かは言葉との出会い次第である。

言葉を通して気持ちを伝え仲間ができ社会ができている。そして言葉が人生をつくると教えられた。

あのベストセラー「海賊と呼ばれた男」のモデル出光佐三翁店主の志しを受けて創立された宗像青年会議所であることを忘れないでほしい。

どうか４０周年を契機に誇りをもって日本のＪＣいや、世界の宗像ＪＣここに在りを目指してチャレンジされますようご祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。

歴代理事長祝辞

2005年度
社団法人 宗像青年会議所
第31代 理事長

郭　郁三

「生きる」

～二度とない人生だから、今を本気で生きる～

公益社団法人宗像青年会議所４０周年、誠におめでとうございます。
当時、まだ経験の浅い私が理事長予定者の内定をいただいた折、悩む私に一人の先輩が声を掛けてくださいました。「１月１日から完璧な理事長などいない。担いが終わる頃までに理事長になれたらいい。」その一言に随分助けられたことを、つい昨日のことの様に覚えています。

歴代理事長を含め、先輩方が紡いでこられた歴史を振り返ると同時に、まだ見ぬ後輩達にバトンを繋ぐ為に、自分の役割は何なのか。前年度スタートした宗像少年会議所の方向性を２年目としてどう捉えるべきか。何日も悩んだ末“『生きる』～二度とない人生だから、今を本気で生きる～”をスローガンに決め、規律ある例会運営を軸とし、日本ＪＣ会頭公式訪問の受入やＪＣサッカー大会への出場、首長選挙に伴うローカルマニフェスト型公開討論会の開催や宗像少年会議所の海外事業（グローバルトレーニングスクール in 内モンゴル）など多くの事業を開催すると同時に、会員拡大推進室を設置し、積極的に会員拡大に取り組んだ１年間でした。

ＪＣ活動を通して学んだことは、「覚悟」です。困難に出会った時に逃げない真の覚悟を持ち合わせた人に出会えたこと、そしてＪＣに入会させていただいたことに改めて感謝申し上げます。

ＪＣとは、まちづくりに対し、議論を重ね事業の実践を通して、その根本となる「人」を育てる場です。また互いに家族のことや職場のこと、まちの将来について、あらゆることを相談できる第二の仲間づくりの場でもあります。

人を輝かせるのは人であり、人を曇らせるのも人であり、出会う人が本気であればあるほど、その人も本気になれるのです。人生の中で、常に右か左か、前か後ろか、やるべきかやらざるべきか判断の連続です。自分は何者で、何をやる為に生を受けたのか、自分の中の羅針盤をしっかりと持ち、失敗を恐れず行動すること。そして「迷ったときはやる」という気概を持って、ＪＣ活動に一歩踏み込んでみて下さい。その一歩であなたの人生は必ず変わると信じて。

2005年 主な活動事業紹介

４月例会　マナー講座

５月例会　これであなたも会員拡大マスターだ！

８月　ファミリー例会

８月　グローバルトレーニング in 内蒙古

９月　指導力セミナー「苦楽を共に分かち合おう」

１０月例会　福津市の明日を考える

全国初「ローカル・マニフェスト型公開討論会」

福津市の明日を考える

宗像版　青年議会

座禅

グローバルトレーニング in 内蒙古

2006年度
社団法人 宗像青年会議所
第32代 理事長

井上　正文

変革と進化の黎明

新しい日本・宗像をこの手で創ろう

変革と進化の黎明　新しい日本・宗像をこの手で創ろう

新たなＪＣ運動の始まりを予感するかのように、２００６年は年明けから宗像ＪＣ一丸となって「すべてを捨てても叶えたい夢」の実現に向け、九州全域を回って仲間達の支援を結集。２月、ついにその悲願を達成することができました。WBC 世界フェザー級王者・越本隆志チャンピオンの誕生です。今でもあの勝利が決まった瞬間の歓喜を忘れることはありません。現役の宗像ＪＣメンバーが世界の頂点に立ったのです。

４月、原田市長急逝による宗像市長選挙公開討論会、そして開催当日開場数分前の中止決定。宗像・福津・古賀市災害ボランティア連絡会の設立。実際の本会議場を使った模擬議会の開催。社会起業家育成事業や、千石峡での少年会議所キャンプ、韓国昌原ＪＣと日韓の歴史問題を熱く議論したこと等々、当時の思い出は尽きません。

役員の選任や組織づくり、事業の立案、職務分掌やモチベーションの向上など、ＪＣ活動を通じて学んだことは多岐にわたります。しかし、ＪＣ運動で得た最大の宝は「人」です。敬愛する先輩方、仲間達との固い絆。共に喜び合い、涙した時間は私の一番大切な宝物です。

早いものでＪＣを卒業して８年が経とうとしています。今はＪＣ活動こそはしていませんが、地域活動やまちづくりの行動指針は常にＪＣにあります。これからも生涯ＪＡＹＣＥＥとして、すべては愛する宗像のため、その活動を続けていく所存です。

現在、宗像ＪＣで活躍する現役メンバーの皆さんには、今やるべきことを一所懸命に頑張ってください。そして、常に威厳と誇りをもってＪＣ運動に邁進されることを願っています。

最後になりましたが、創立５０周年、日本ＪＣ認承４０周年に際し、多大なるご尽力を賜りました関係諸氏に厚く御礼申し上げます。

2006年 主な活動事業紹介

３月例会　あなたのオソバに宗像JC（会員拡大事業）

４月例会　越本隆志トークショー

５月例会　災害ボランティアネットワークの構築

６月例会　経営資質向上セミナー

７月例会　Let’s Enjoy ！ドッヂビー

８月　宗像リーダー育成キャンプ

１０月　韓国昌原 JC との意見交換会

１０月例会　宗像版　青年議会

１１月例会　社会起業精神に基づくビジネスプランの提案

WBC 世界フェザー級王者　越本隆志チャンピオン 誕生

宗像・古賀エリア災害ボランティア連絡会設立

メールマガジン・ニュースマガジンの発行

災害ボランティアネットワークの構築

WBC 世界フェザー級王者　越本隆志チャンピオン 誕生

歴代理事長祝辞

2007年度
社団法人 宗像青年会議所
第33代 理事長

立部　瑞真

心を耕す
～ときめきの原点回帰～

タレントの松村邦洋さんがラジオで次のようにおっしゃっていました。

「嫌なことがあると心の底では『ポイントが貯まってるな』って、ちょっとうれしくなっちゃうんですよね。」

彼は、高校生の頃かなりいじめられていたそうですが、やり返したり言い返したりしなかったそうです。芸能界に入ってから、耐え難いようなロケがあっても、やめたいと思ったことは一度も無かったそうです。

「嫌いなおかずでもポイントが増えると思って食べる。苦手な人と一緒に過ごさなくてはならない時には、その場の雰囲気を壊さないように一生懸命努める。すると、筋トレをすれば筋肉がつくように、嫌なことに耐えると心にポイントがつくんですよね。」

「嫌なことに耐えたおかげで運のポイントが貯まっていった。２００９年の東京マラソンで心筋梗塞で倒れたけれども奇跡的に助かったのは、貯まったポイントが使えたのだと思う。」

“ポイント”という考え方にはなるほど感心しました。たしかにＪＣ現役時代には「今日は行きたくないなあ。」と考えながらイヤイヤ行ったりとか、「こんな研修受けたくないよ～」と思いながらも結局受講したりとか、でも考えてみると、そのことごとくがポイントになっていたようです。

例えがイマイチ悪かったようで、まるでＪＣが嫌なことだらけみたいにとらえられると困りますが・・・。

はたして貯まったポイントをすでに交換してしまったのかどうかは知れませんが、自分だけのポイントではなくて、他の人にも使えるポイントだと考えると、またひとつ楽しくなるような気がします。

創立までの１０年とそれからの４０年。あわせて５０年分のポイントがあるとしましょう。現役の皆さん！どんどん地域に還元して、もっともっと貯めていこうじゃありませんか。

（有効期限は無期限とします。）

妻「私のポイントもそろそろ交換していただいてよろしいかしら？」

瑞「・・・・・。」

ファミリー例会

道州制と宗像地域の展望

2008年度
社団法人 宗像青年会議所
第34代 理事長

戸波　真也

「ノーブレス・オブリージュ」
～ＪＣの責任とＪＡＹＣＥＥの覚悟～

２００８年は、ＪＣの存在の意義は地域に必要とされることとし「“ノーブレス･オブリージュ”～ＪＣの責任とＪＡＹＣＥＥの覚悟～」をスローガンに運動を展開しました。ＪＣと仕事や家庭を割り切って分けて考えるのではなく、メンバーがＪＣで学んだことを仕事や家庭、そして人生に生かしていくことこそＪＣ運動の本質と考えました。自分達が成長することで地域が発展するという考えは、当時の活動のみならず、のちにそれぞれの地域で政治、経済、教育、文化など様々な分野や場面で活躍する人材育成に寄与できたのではないかと確信しています。また、市長選挙の際の公開討論会や市政に対する検証大会、宗像少年会議所や市民参加型ミュージカル「宗像三女神記」、宗像市成人式の主管運営などの継続性を持った事業も浸透し、地域からも必要とされる存在になりつつあるのではないかと嬉しく思っています。

私は２０１１年に縁を得て鹿児島ブロック屋久島青年会議所の設立に立ち会う機会をいただきました。そこには我々が当時当たり前のように行っていた活動や行動、理念などの意味を一から学んで理解し、創りあげる屋久島ＪＣチャーターメンバーの姿がありました。宗像ＪＣにおいても現在当たり前のように行っている運動や活動、そして例会セレモニーや理事会運営などの行動も、４０年間先輩方が試行錯誤しながら積み上げてこられた歴史と努力の上に成り立っているということを決して忘れてはいけません。

いまだ地方は不況からは抜けきれず、活動費や会員の減少などＪＣ運動を取り巻く環境は決して良いとは言えませんが、私は国家繁栄の礎は積極的な市民（Active Citizen）によってこそ築かれるものだと思っています。ですから我が国この地域はＪＣなしでは成り立っていかないとさえ思います。これからも自分たちのＪＣ運動を信じて新たな歴史を創造していってください。

2007年
主な活動事業紹介

３月公開型例会　宗像ボランティアの輪

５月公開型例会　我がまち知っとこ宗像地域

７月例会　「一味和合」

８月ファミリー例会　食育アカデミー

８月　宗像少年会議所
リーダー育成キャンプ in 大峰山

１０月セミナー例会　ローカル・マニフェストを学ぼう

１０月公開事業　福津市の明日を考える
ローカル・マニフェスト検証大会

2008年
主な活動事業紹介

３月　道州制と宗像地域の展望

４月例会　相互理解プログラムを活用した国際交流

５月例会　みんなで考えよう宗像流親学

６月公開型研修例会

８月少年育成事業　修練と学び in 英彦山

８月例会　近現代史から学ぶ日本の誇り

１１月セミナー例会　宗像流親学のススメ

ローカル・マニフェスト検証大会

一味和合

少年会議所 in 英彦山

釣川清掃

歴代理事長祝辞

2009 年度
社団法人 宗像青年会議所
第 35 代 理事長

椎名　修

本物の「ＪＡＹＣＥＥ」であれ

～愛するものの為に～

創立４０周年おめでとうございます。

無事に本日を迎えられた事は、創立以来から休むことなくＪＣ運動を展開し続け、地域に必要とされてきた結果なのかなと嬉しく思います。

現役時代を振り返り、常に意識していた事といえば、地域に必要とされるＪＣをめざし事業を展開してきたことが、結果的に市民の方々にとって本当に必要なことだったのか・・・
我々の自己満足になっていないか・・・など自問自答してきました。

このような考えを意識し出したきっかけは、入会後間もない頃、宗像市と旧玄海町の合併問題が浮上し市民の中でも賛成派、反対派と様々だったからです。当時の世論では、大同合併や道州制が全国的にも騒がれはじめメディアでも大きく取り上げられていました。
単純に合併＝正解とは考えていませんでしたから、我々自身がしっかり勉強してから取り組む必要性を強く感じました。もし、ＪＣが少数派の後押しをした場合は世間からどう映るのかと考えてみたり、触れてはいけない領域なのかと考えたりもしました。

このように難しい問題ほど自分の記憶に残っています。現役諸君も敢えて難題に立ち向かい大いに活躍してください。

今後もＪＣ運動は、無限の可能性に挑戦していくと思いますが、常にひたむきに取り組む現役メンバーを誇りに思っていますし、これからも応援しています。頑張ってください。

ミュージカル むなかた三女神記

ローカル・マニフェスト型公開討論会

2009年
主な活動事業紹介

1月　福津市ローカル・マニフェスト型公開討論会

3月例会　人間力向上セミナー
～本物の JAYCEE とは～

4月例会　宗像大社･鎮国寺の奉仕作業（会員拡大事業）

5月例会　なるほど！なっとく！公益法人！

6月例会　ローカル・ディスカッション

6月　創立 35 周年記念式典・祝賀会

7月　出席率 100% 例会
～ One For All・All For One ～

8月　リーダーシップキャンプ

１０月　創立３５周年記念事業
「むなかた三女神記」初公演

１０月例会　社会起業家育成例会

１１月　姉妹締結 25 周年訪韓

韓国昌原 JC 姉妹締結 25 周年記念歌制作

第６期少年会議所開校式

出席率 100% 例会

2010 年度
社団法人 宗像青年会議所
第 36 代 理事長

堀　建治

求道心

～さらなる進化への飽くなき挑戦～

2010 年度は「求道心～更なる進化への飽くなき挑戦～」をスローガンに掲げ、【進化】をテーマに様々な運動を展開させていただきました。

また、この年より宗像市成人式の主管と宗像ＪＣ創立 35 周年記念事業として開催した「市民参加型ミュージカルむなかた三女神記」が、世界遺産推進事業として、宗像・沖ノ島世界遺産市民の会主催事業へと移行し、その企画・運営を受託することとなりました。事業を創出することより継続することの方が難しいと言われるなか、現在もこの２事業の他にも「宗像少年会議所」の運営や市長選挙における公開討論会及び検証大会など、多くの事業を継続しつつ、ニーズに応じた事業が精力的に開催されていることにＯＢの一人として嬉しく思います。

当時はメンバーの半数以上が２年後に 40 歳の卒業を迎えるという、まさに会の存続が危ぶまれる状況でしたので、すべての事業を会員拡大に繋がるように計画し、不退転の決意で臨みました。その結果、多くの仲間に宗像ＪＣの門を叩いていただき、事業の方も滞りなく開催することができました。今思えば、あの逆境下がメンバーの大きな底力を引き出すことになり、一致団結できる素晴らしい機会をいただいたと感謝しています。

現役メンバーにおかれましては、まさに求められる団体となった今、事業を継続することやＪＣ活動を行うことを目的とせず、自ら立てた目的達成のために求道心を持って情熱的に活動するＪＡＹＣＥＥであって欲しいと思います。

そして心から「自負」できる運動を展開することに挑戦し続ければ、さらに地域にとって無くてはならない宗像ＪＣとなることと確信致します。

先輩諸氏及び関係各位におかれましては、半世紀も長きにわたり多大なるご尽力を賜りましたことに対し敬意を表しますとともに厚く御礼申し上げ、今後も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2010年
主な活動事業紹介

2010年宗像市成人式

６月公開型例会「宗像ば元気にするバイ！」

７月例会　～どこが変わる？なぜなに公益法人！～
「宗像ＪＣ　進化論」

「宗像市の将来を考える」
ローカル・マニフェスト型公開討論会

８月公開例会　GLOBAL SUMMER FESTIVAL 2010
～世界に広げよう　友情の輪～

１０月公開型例会　Heart to Heart プログラム
JC ゲーム～さらなる進化をめざして 今、行動する～

Heart to Heart プログラム JC ゲーム

宗像ば元気にするバイ！

歴代理事長祝辞

2011年度
社団法人 宗像青年会議所
第37代 理事長

中村　好成

Positive Change for the future
～未来へ向けての変革とさらなる飛躍を創造しよう～

２０１１年は、ＪＡＹＣＥＥそして組織が、ＪＣＩの理念である「ポジティブ・チェンジ」積極的な変革、飛躍を創造し、地域社会においてリーダーとなるべく修練を積み重ねるために、「Positive Change for the future」～未来へ向けての変革とさらなる飛躍を創造しよう～をスローガンに運動を展開しました。組織をつくるのは人であり、魅力的な組織であるためには、そこに集う人が魅力的で心を一つにして同じベクトルに向かって、積極的に活動していることが何より大事であると思います。また、いつの時代も社会を構成するのは人であり、そこに住み暮らす私たちが故郷を愛し誇りに思う、私たちが変われば地域が良くなるという変革の意識を持ち続け、ＪＡＹＣＥＥとして常に会社や家族、周りの人達に支えられているという感謝の気持ちを抱き、若者らしくＪＣ運動に取り組むことが何より重要であると考え、ＪＣ運動を推進して参りました。

今後もＪＣ運動を展開するうえで、「自立」と「共助」の精神が大切であると考えます。「自立」とは国家における主権者として民主主義のプロセスに参画し、経済活動や環境の整備などを通じて社会的役割を果たす、即ち公共の担い手であることです。「共助」とは、様々なコミュニケーションを通じて互いが存在を認め合い、刺激し合い、励まし合い、助け合い、共にたくましく「生き抜く力」と「生かされていることへの感謝」のことです。

今を生きる青年経済人として、時代の潮流に正面から向き合い５年先、１０年先を見据えながら宗像地域のポテンシャル、発展の可能性を最大限に活かして、昨日より今日、今日より明日、未来に向かって希望の持てる地域社会を創るために、共に歩みを進めて参りましょう。

結びに、３月１１日１４時４６分に未曽有の東日本大震災が発生し歴史に残る大きな自然災害、それに伴う原発事故の影響などで被災地に壊滅的な被害をもたらしました。３年半が経った今もなお、復旧作業の過程にあり、真の復興に向けて被災地に心を寄せ風化を防ぐことと、自分ができる支援を自ら考え行動していかなければなりません。そして、２０２０年の夏季五輪開催までに、被災地に明るい兆しが見えてくることを切に願います。

東日本大震災募金活動

地域の特色を生かしたまちづくり事業

2011年
主な活動事業紹介

2011年宗像市成人式

２月　青年経済人育成例会
～新大陸は必ずある～

６月 宗像流「ＯＴＯＮＡＮＯＳＥＮＡＫＡ運動」
～宗像の宝　若手生産者の想い～

人のご縁ででっかく生きろ！
～出会いを活かせば道は開ける～

８月 宗像大社・鎮國寺を拠点とした
歴史探検キャンプ

１０月 2011年度 福津市マニフェスト検証大会

心のふるさと、むなかたの魅力再発見！

男気祭 2011

2012年度
社団法人 宗像青年会議所
第38代 理事長

大野　浩二

直球勝負
～心に響く行動を～

公益社団法人宗像青年会議所創立４０周年、誠におめでとうございます。

２０１２年は、「直球勝負　～心に響く行動を～」をスローガンのもと、明るい豊かな社会を築きあげるという明確なビジョンをもって様々な運動を展開させて頂きました。その中でも、宗像市成人式を始め、宗像市・福津市の首長選挙におけるマニフェスト型公開討論会・検証大会の開催、市民参加型ミュージカル「三女神記」の企画運営、青少年育成事業の一環として宗像少年会議所の運営など、公益性のある事業を、長年継続してきました。これも４０年間先輩方が積み上げてこられたからこそ行えた事業だと思っております。

地域を変革していく中で必要なのは、人と接しながら様々な夢や想いを語りより深く共感しあい、お互いの価値観を共有すること、そして、個々の能力を止めることなく、様々な意見を取り入れ確固たる自己の存在を築き、お互いの存在を尊重していくことこそが、人に頼られるＪＡＹＣＥＥ（ＪＣ運動をする個人の意味）になり、そして、若い世代のメンバーが先頭にたって、熱くひたむきに前向きに行動することが、地域に求められるＪＣ（団体）として、力強い運動を展開出来るものだと思っています。

結びに、創立前よりこれまで御尽力頂きました先輩方をはじめ、関係諸氏に厚く御礼申し上げます。

2012年
主な活動事業紹介

2012年宗像市成人式

４月公開例会　～地域の安全と安心～

５月「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産フォーラム
～世界遺産を生かしたまちづくり～

６月宗像市長ローカル・マニフェスト検証大会

８月　東北応援プロジェクト
～私たちは繋がっている～

９月　ミュージカルむなかた三女神記本番公演

１０月 地域の特色を生かしたまちづくり事業
～我らのふる里ここにあり！～

東北応援プロジェクト

会員研修～凛然としたリーダーの育成

歴代理事長祝辞

2013 年度
公益社団法人 宗像青年会議所
第 39 代 理事長

井上　崇

フレンドシップキャンプ

美徳をもって、行動するＪＡＹＣＥＥ

～プロボノ精神溢れる社会をめざして～

宗像青年会議所が創立５０周年、日本青年会議所認承４０周年を迎えるにあたり、今日に至るまで脈々と受け継がれてきた故郷宗像を想う高い志と情熱をもって、ご尽力されてこられました歴代諸先輩方に敬意を表しますと共に、その歴史に私自身が携わることができたことを誇りに思います。

出光佐三氏の熱い想いによって、創設された宗像ＪＣの第３９代目の理事長として、２０１３年度は「美徳を持って、行動するＪＡＹＣＥＥ～プロボノ精神溢れる社会をめざして～」をスローガンに、運動を展開させてまいりました。

１月、ＯＢの皆様をはじめ多くの方々のお力添えにより「公益社団法人格」を取得。４月には、須恵の新事務局に移転いたしました。

「集う」ことの重要性を実感し、メンバーひとり一人が努力した結果、出席率１００％例会を４回行うことができ、会員拡大におきましても、１５名の新入会員を迎えることができました。

また、対外事業にとして「福津市ローカル・マニフェスト型公開討論会」、「防災リーダー育成事業」、地域ブランド向上事業「宗像ブランド化計画」、「むなかた三女神記 大島公演」、東北の子供達と共に行った「フレンドシップキャンプ」、福岡教育大学との共催事業「まちづくりワールドカフェ」等を通じて、当事者意識の醸成やリーダーシップを学ばせて頂きました。改めて最高の仲間と共に、かけがえのない経験と時間を共有することができたことに、心から感謝申し上げます。

結びに、現役メンバーにおかれましては、「明るい豊かな社会」の実現ため、時代に即した地域に求められる心のこもった運動を展開し、今後も宗像ＪＣから、数多くのリーダーが輩出されますことを心から願っております。

※プロボノとは、仕事や社会活動を通じて培った専門的知識やスキル・経験やノウハウなどを生かして社会貢献すること。

まちづくりワールドカフェ

出席率 100% 例会4回達成

2013年 主な活動事業紹介

1月9日　「公益社団法人格」取得

3月公開型例会　防災リーダー育成例会

4月公開例会　異業種交流会（会員拡大事業）

4月20日　事務局移転

5月　ミュージカルむなかた三女神記隊
博多どんたく港まつりパレードに参加

5月公開型例会　進化した社会貢献
～プロボノ精神溢れる社会へ～

6月公開例会　宗像、ブランド化計画。
～地域の誇りがブランドになる～

7月例会　日本人の美徳の精神
～美徳をもって、行動するＪＡＹＣＥＥになろう～

7月　宗像少年会議所創立 10 周年記念事業
～フレンドシップキャンプ～

8月　宗像少年会議所創立 10 周年記念例会

10月公開例会　まちづくりワールドカフェ
～あなたがつくる地域の未来！！～

2014 年度 世界遺産登録推進運動 と 青少年育成事業

市民参加型ミュージカル

むなかた三女神記

９月１３日に市民参加型ミュージカル「むなかた三女神記」の６回目となる本番公演を開催いたしました。

「市民参加型」の名のとおり、出演者はオーディションで選ばれた子どもたちが中心に、およそ半年間、厳しい練習を重ねて本番の舞台を迎えました。

本年度も、多くの市民の方をお招きさせていただき「宗像・沖ノ島と世界遺産関連遺産群」の世界遺産登録推進運動の核となる運動として宗像の魅力を改めて再確認していただき、世界遺産登録推進運動を市民の皆様と一緒に盛り上げていただく機会となりました。

MUNAKATA SYONEN KAIGISYO

宗像少年会議所

開校式

６月１５日（日）鎮国寺にて「第１１期宗像少年会議所開校式」を開催させていただきました。その際、鎮国寺のご住職であり宗像青年会議所の歴代理事長でもある立部瑞真先輩からご講演いただき、鎮国寺のご案内をしていただきました。

夢未来アート

９月２０日（土）福間海岸にて防波堤修復作業として福岡教育大学の学生さんと一緒に防波堤の壁に絵を描きました。

大島研修事業

～歴史や自然を体験し交流を深めよう！～

８月７日（木）大島にて研修事業を行いました。かんす海水浴場での磯観察、安昌院ご住職である安川氏と元大島町役場に勤められていた平川氏のお話し、七夕まつりへの設営や販売お手伝いでの参加をさせていただきながら、自然を体験し歴史を学び郷土愛を育みながら交流を深めました。

□みあれ祭前夜祭花火大会
宗像ミュージックフェス

□ミアーレ音楽祭

□ビーチフットボール

９月３０日（火）釣川にて行われた花火大会にボランティア運営スタッフとして参加いたしました。その他、ミアーレ音楽祭やビーチフットボールなど、宗像少年会議所の活動を通じて様々なイベントに参加をさせていただきました。

公益社団法人 宗像青年会議所

2014年度　活動報告

四塚
YOTSUZUKA

40th ANNIVERSARY MUNAKATA JC

MUNAKATA JC 40th Anniversary
Starting Over
～伝統に学び、新たな一歩を踏み出そう～

新春祝賀会

私たちが、この宗像地域でＪＣ活動に邁進できるのは、多くの先輩方や私たちの活動に理解を示していただいている方々のおかげです。その感謝の意を表すと共に、次の１０年に向けた宗像ＪＣの新たな一歩をお披露目する為、新春祝賀会を開催いたしました。

4月公開例会

宗像市長選挙マニフェスト型公開討論会

～より良い地域を創るために、新たな一歩を踏み出そう～

２０１４年４月２０日（日）、任期満了に伴う宗像市長選挙が行われました。公開討論会の実施は、立候補者が有権者に対しどのような約束を交わすのかを見極める機会であると同時に、私たち市民が市政に対しどう向き合っていくのかを考える重要な機会となります。宗像ＪＣは、宗像市におけるマニフェストの評価サイクルを確立すべく、マニフェスト型公開討論会・マニフェスト検証大会を主催してきた実績を生かし、マニフェスト型公開討論会を継続して開催する事業です。

宗像市成人式

宗像市との協働運動の一環として、行政と宗像ＪＣがそれぞれの特性を生かし、サービスの質の向上や、より効果的かつ効率的な行政運営の推進を図るため、宗像JCとしてこれまでのノウハウやアイディアを生かし成人式の事業を行いました。

5月例会

第42回福岡ブロック大会 決起大会

～一致団結して最高の大会にしよう～

福岡ブロック大会は、JC メンバーが地域社会の一員として市民の共感を求め、後世に繋ぐ愛すべき郷土と人々の「明るい豊かな社会」の実現をめざして地域に根差した運動を展開してきたものであります。その第４２回福岡ブロック大会を成功に導くためには、宗像 JC メンバー全員が大会の内容を深く理解するとともに、全員の力を一つにして大会に臨む意識昂揚を図る事業です。

3月公開例会

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を学ぼう

私たちの暮らすこの地域には、魅力的な歴史的遺産や、守り継がれた文化的遺産が数多く残っています。その中でも「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は世界遺産登録暫定リストにも取り上げられ国内外からも注目を集めています。宗像 JC でも度々「宗像・沖ノ島と関連遺産群」について学びの機会を設けてきましたが、入会歴の浅いメンバーが LOM 全体の約半数を占める現在、再度学びの事業です。

7月会員交流例会

～全員バレー!! つなげようボールと心～

本年度、宗像ＪＣは第４２回福岡ブロック大会宗像大会を主管し、大会の成功を通じてＬＯＭ内の連携力が向上しました。その成功体験に満足することなく、メンバーが楽しさ・悔しさを分かち合い、仲間に感謝する心をスポーツを通じて再認識していただくことで、一人ひとりの成長のみならず組織としての宗像ＪＣのさらなる強靭化に繋がり、宗像ＪＣの踏み出す新たな一歩となると考えて行われた事業です。また、宗像ＪＣの次年度体制を決める理事長・監事選出委員選挙が行われました。

第４２回福岡ブロック大会　宗像大会

郷土愛 ～郷土（まち）を愛する心が地域の未来を創造（つく）る！～

やるばい！するばい！世界遺産
～郷土を愛する心が地域の未来を創造する～

博多華丸・大吉、福岡知事小川洋氏、宗像市長・福津市長をパネリストに迎え、世界遺産を中心とした今後のまちづくりについてのパネルディスカッションや、博多華丸大吉の漫才にて楽しんでいただける内容でした。また市民参加型ミュージカルむなかた三女神記のショート公演も行いました。福岡県と宗像市・福津市が共同で展開する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進運動への機運の昂揚を図り、そして郷土への感謝と愛情を抱いていただくことについては、パネルディスカッションとミュージカルを通して達成することができたと考えます。今後もむなかた三女神記の活動を通して、「宗像・沖ノ島関連遺産群」の世界遺産登録へ向け多くの市民・行政と共鳴した運動を展開して参ります。

国民による未来創造プロジェクト
～この国のあるべき姿を描こう～

ひげの隊長こと佐藤正久氏と井上政典氏を講師としてお招きしました。憲法を身近に感じ、国家の未来を描くことで、今後の日本が、どのような国であるべきかを考える事ができ、憲法論議を通じて主権者意識の向上に繋がるフォーラムとなりました。来場者の多くの方は、現行の日本国憲法が時代にそぐわないと思い、憲法の重要性、自主憲法制定の必要性を感じていただき、憲法を身近に感じていただくことができたと思います。国民参加型事業に参加した国民が様々な意見を持ち、今後も活発な憲法論議を行うことが出来ると思います。

FUKUOKA　STADIUM～スタジアムパーク構想

福岡未来構想をご理解いただき、スポーツを通じて自立した経済力、情報力、人材力、安心力を発信するためにスタジアムパーク構想をテーマにご講演をいただきました。Ｊリーグの理事経験者で、地域デザイナーの傍士銃太（ほうじせんた）氏に商業施設や宿泊施設を併設した海外の有名サッカースタジアムとその地域の経済効果を紹介してもらい、国内での導入をご提案いただきました。

地域活性たからいち２０１４

福岡県内各地の魅力を集めた たからいちを開催いたしました。当日は、各地域のおいしい食べ物をはじめ、たくさんの地域のたからが集まり、御来場者の皆様に楽しみながら地域の特色や魅力を知っていただきました。また、ステージではイベントや県内のゆるキャラも多数登場し、こども達にも大盛況でした。

宗像地域の宝ここにあり！！
～宗像地域のものづくり体験～

宗像地域の工房さん等をお招きし、ガラス工芸体験を初めとした木工体験、レザークラフト体験、陶芸体験などをお越しいただきました皆様に楽しんでいただきました。宗像の文化や地域性に楽しみながら触れていただくことができました。

宗像の宝バスツアー

３便のバスを準備し、宗像大社、神宝館をはじめ、むなかた道の駅、新原・奴山古墳群など、宗像の特色を参加者の皆様に存分に堪能していただきました。宗像にお住まいの方以外も多数ご参加いただき、宗像地域の魅力を知っていただくきっかけになるバスツアーでした。

サッカー教室

女子プロサッカーチームである福岡Ｊ・アンクラスの選手をコーチにお招きし、小学生を対象にサッカー教室を開催いたしました。

空から宗像を眺めてみよう
～おもしろバルーン体験ＩＮむなかた～

ご来場いただいた皆様に気球体験をしていただきました。強風の影響により、中断することとなりましたが、その後もバーナー点火体験を行いました。

大懇親会

宗像ユリックス多目的グランドで大懇親会を行いました。宗像の特色を生かしたイカの活き作りやＯＢの先輩方より巨大マグロが振る舞われました。また、フィナーレには打ち上げ花火が上がり、盛り上がりました。